しばた人権フェスティバルで開催

ミニしばた 2026

12月6日（日）

時間：10時～16時
場所：ヨリネスしばた

「ミニしばた」は
こどもだけでつくる「こどものまち」です。
こどもはまちの市民になり、仕事を選び、働きます。
納税したあと残ったお金で遊んだり食べたりできます。
遊びながら「働く」「社会に参画する」
「自分たちのまちは自分たちで決めて、自分たちで動かす」
体験をする楽しいプログラムです。

完全予約制

参加無料

おしごと



市役所　ハローワーク
警察　清掃局
銀行　パン屋さん
など

お仕事をして
かせいだお金を使って
あそぼう！

クリスマスマーケット



さかなつり　わなげ　チキンゲーム
おさいふ作り　アクセサリー作り
など

共催：敬和学園大学ミニしばた実行委員会、男女共同参画推進団体懇談会
協賛：三幸製菓(株)、(株)栗山米菓

お問い合わせ：
ミニしばた実行委員会 指導教員（大岩）
メールアドレス：a-ooiwa@keiwa-c.ac.jp
新発田市人権啓発課　☎ 0254-28-9630

お申し込みは11月9日（8:30）より、こちらから！

午前の部　午後の部

2026
こどもがつくる　こどものまち
ミニしばた

「こどものまち」とは？

ドイツ発祥の「ミニ・ミュンヘン」をモデルとした、子どもだけで運営する「小さな都市」で、日本では「こどものまち」と呼ばれ全国100ヶ所以上で行われています。新発田市の開催は3回目で新発田市人権啓発課と敬和学園大学大岩ゼミが協力し当日の運営を行っています。新発田の子どもたちが子どもとしての権利を知り使えるようになること、自分のまちは自分で作り動かせることを体験することを目的とした市民性教育プログラムです。

参加について

子どもも大人も参加無料です。働く前の子どもは通貨を持っていませんので、遊んだり食べたりするために現金が必要になります。

小・中学生

市民として参加できます。仕事をするとこどものまちで使える通貨で給料が支払われます。納税後に手元に残ったお金で遊んだり食べたりという市民活動ができます。保護者なしでひとりで参加できる子が対象ですが、サポートや配慮が必要であれば受付でヘルプマークに記入してください。どんな子どもでも参画できるまちをめざしています。

未就学児

ビジターとして参加できます。まちに遊びに来る旅行者のイメージで楽しんでください。まちの通貨「しば」に両替し、クリスマスマーケット（ゲームの店やワークショップ）に参加できます。

大人

立ち入り禁止区間があります。クリスマスマーケットには入れます。こどものまちでは、<u>大人の手出し口出しは禁止</u>されています。

開催概要

日時：2026年12月6日（日）
場所：新発田市役所
午前の部　受付時間：9:40～11:00
　　仕事の時間：10:00～12:00のうち45分間
午後の部：受付時間：12:30～14:30
　　仕事時間：12:30～15:00のうち45分間

定員：100名（午前午後の仕事50枠ずつ）
　　各部定員入れ替え制
※完全事前予約制のため表面の二次元コードから参加登録をお願いします。

当日の流れ



①市役所で市民登録をする
②ハローワークで仕事を選ぶ
③市民オリエンテーション（15分）
④仕事をする（30分）
⑤銀行でお給料を貰う（700円相当）
⑥納税する（200円相当）
⑦稼いだお金で遊んだり食べたりする

留意点

受付（市民登録）してから、仕事を選びます。各仕事の開始時間が決まっていますので、希望の仕事・希望の時間が選べない場合もあります。
稼いだ通貨は「しばた人権フェスティバル」に出店している飲食店や、クリスマスマーケット（ゲーム・ワークショップ）で使えます。仕事が終わるまで通貨は持っていないので、待ち時間に遊びや飲食をする場合は現金が必要になります。
事前登録で定員に満たない場合は、希望者はお仕事を2回以上できる場合があります。